

●制作

とむらえどうぶつの森 市原市のゴルフ場における野生鳥獣のための埋葬空間の提案

稲村 友里

園芸学部 緑地環境学科 環境造園学プログラム (主指導教員: 霜田 亮祐)

TOJO Midori

1. 研究の背景と目的

近年、日本において殺処分される野生鳥獣が増加している。急増する野生鳥獣による被害を減らすのが目的だ。人と動物が共存していく上で適切な個体数管理は必要不可欠だが、その動物らは廃棄物として焼却処理をされるなど相応しい扱いを受けていない。動物の処分方法を考えると同時に災害の被害を減らすような森林管理を目指し付加価値のある地域づくりについて考える。

2. 研究方法

2-1. 可視領域分析

可視領域分析ツール、カシミール3Dを用い千葉県市原市を走る小湊鉄道の車窓景観を調査した。まず各駅からの可視領域を分析した。次に隣り合う2駅からの共通可視領域を算出した。

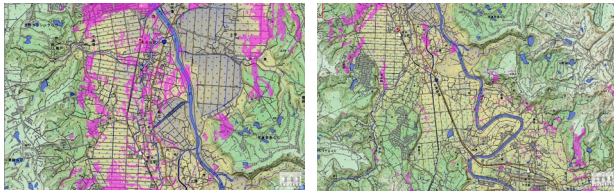
2-2. 車窓分析

小湊鉄道の全区間の車窓を撮影し分析で算出した可視領域が見えるか確認した。窓の下枠より25cm上の高さにスマートフォンを設置した。後ろを向いた時の目線の高さとした。

3. 分析結果及び考察

3-1. 可視領域分析結果及び考察

全17区間のうち4-6区間で可視領域が大きく広がっており他の地域は過少であった。これは上り方面3区間は平地で住宅地であり、下るにつれ丘陵部となりカーブも増えることからであると考えられる。



馬立—上総牛久間

3-2. 車窓分析結果及び考察

可視領域分析ツールより実際に見える範囲は少なかった。これは計算時に含めていない住宅や樹木が線路近くにあったためであると考えられる。



4. 対象地について

4-1. 市原市について

市原市は千葉県中央に位置する人口約27万人の都市である。市内には小湊鉄道が走り養老溪谷を始めとする自然と触れ合いに訪れる観光客が多い。またゴルフ場の数も多く全国の市町村の中でも最大規模を誇る。冬季は時間帯により南、北、西からの風が吹く。

4-2. 光風台—上総牛久駅間について

2021年7月の豪雨により10月までの3か月運休となっていた。雨水により線路周りの土が流れた。現在は復旧したが上流の丘陵部の整備は必要である。

4-3. 市原ゴルフクラブについて

対象地は小湊鉄道光風台駅—上総牛久駅の間で視認できる市原ゴルフクラブとした。125万㎡の広さを持つ。

5 提案

千葉県市原市のゴルフ場にて野生鳥獣の吊いの場を設けそれに伴いできる風景を計画する。ゴルフ場で野焼きを行うことで殺処分された野生鳥獣を吊うとともに新たなゴルフコースの創出を図る。

1より野生鳥獣の埋葬空間を作る。自然で生まれた野生鳥獣を土に還すために土葬を選択した。3-1より対象地は可視領域の1つである山とした。3-2より車窓から見えるのは山の頂上付近のみである時間があることを踏まえ遠方からも望める煙を出すイベント、野焼きをすることとした。デザインにおいては野焼きの時に必要な防火帯に土葬空間を重ね合わせることをとする。

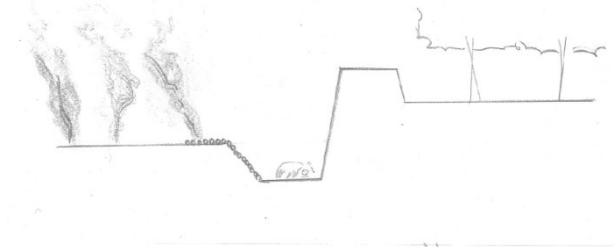
参考文献

市原市観光振興ビジョン2020

[kankoushinkoubijyonkaitei2020.pdf \(windows.net\)](https://www.kankoushinkoubijyonkaitei2020.pdf)



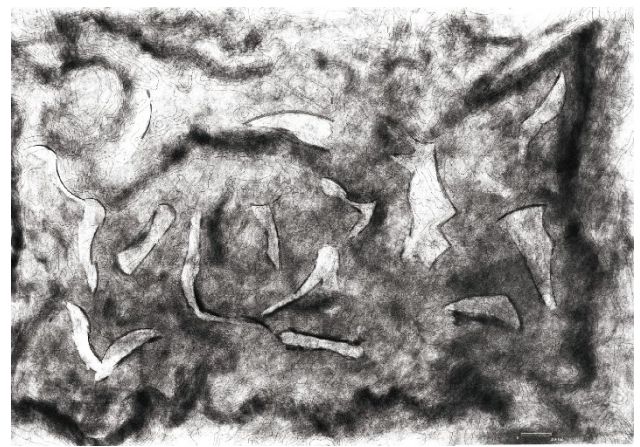
部分平面図 1/200



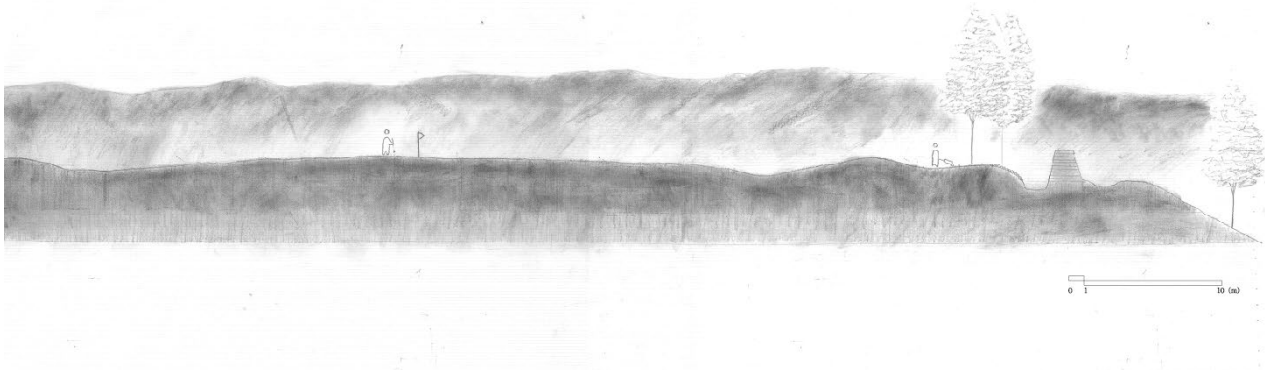
火入れの様子



1/2500



平面図 1/2500



断面図 1/100